

# C&T

A Magazine for The Cosmetics,  
Toiletries and Household Industries

Beauty Science

2017・7



TREND

FOCUS

市場を活性化する(極)小ロット対応OEM

世界観や機能性を表現するネーミング(商標)戦略

特集 口紅

赤リップから始まった復活劇を探る

追跡 ふきとり化粧水／ブースター

「ひと手間美容」でブランドの成長余地を開拓

夏

## ハラル化粧品でも小ロットに対応 「メラティ」に続く新処方にも意気込み

石田香粧

創業100年を超える石田香粧は、1970年代から和漢植物成分を配合したスキンケアシリーズを手掛け、自然派化粧品の研究開発と製造ノウハウを活かした化粧品・医薬部外品OEM事業を展開している。昨夏には、埼玉県に構える戸田工場内に、ハラル認証取得に対応する製造・品質管理体制を整えた「ハラルエリア」を構築し、第一号となるハラル認証スキンケアシリーズ「Melati（メラティ）」（全3品、写真）を誕生させている。

小ロット対応について、石田尚志社長は「経済ロットは1000本」とした上で、「新規参入やテストマーケティング向けの製品依頼も多く、容器など資材の制限がなければ、300～500ロットにも対応している」と語る。ハラル認証対応工場となってからは、開発したハラル認証処方を用いての製造も可能となった。既存の認証処方であれば認証審査が免除され、ブランド名を登録するだけで初期費用を抑えたハラル認証化粧品の販売をスタートさせることができるという。同社は「ハラル化粧品の小ロット対応」を新たな強みに、「今後もハラル認証に対応可能な処方開発を進めていく」と意気込みを示した。

同社は、埼玉県の保健医療部薬務課、城西大学薬



今後もハラル対応を推進・強化

学部とともに、産学官連携を2014年より進めて、同県が定めた「ハラル化粧品GMPリ

ファレンス」を参考に、成分だけでなく、成分製造工程までも厳しくチェックし、イスラム教で禁止されている豚由来成分やアルコールを一切排除した処方開発に成功し、「メラティ」を製品化した。メークアップリムーバー、オールインワンタイプのジェルクリーム、日やけ止めクリームの3品をラインナップし、現在シリーズ新製品も開発中だという。

「メラティ」は、宗教法人日本イスラム文化センターよりハラル認証を取得し、化粧品や健康食品などの企画開発・販売を行っているグレート（本社＝東京都千代田区）が総販売元となり、訪日観光客向けの商業施設を中心に展開をスタートし、今年に入ってから百貨店免税店やドラッグストアのハラルコーナーなど着実に販路を広げている。「メイド・イン・ジャパン」のハラル認証取得化粧品は市場にまだ少なく、今後もしばらくはハラル対応型の店舗や売場の拡大とともに取扱店の増加が見込めそうだ。

発売以降、TV番組などメディアでの「メラティ」紹介依頼も続いており、その度に「（製造販売元である）当社にも多くの問い合わせが寄せられる」と笑顔を見せる。ハラル化粧品への関心度の高さを実感するとともに、顧客商材が広告塔となって自社の企業価値を高めるというOEMビジネスの醍醐味に触れる一幕になっているようだ。

「ハラルに対応した処方はアルコールフリーのため、肌に刺激を感じてしまうためアルコールを苦手とする人たちでも安心して使うことができ、ムスリム以外の人たちにも潜在的な需要があると見ている。ハラル対応処方の需要拡大とともに、小ロット対応からスケールアップしていく流れを生みだし、ハラル専用工場の可能性も探していきたい」（石田氏）